

千葉歴史の散歩道

千葉県立安房南高等学校旧第一校舎の魅力と歴史 —その2 文化財としての近代建築—

千葉県教育庁教育振興部文化財課文化財主事 小出 麻友美



「文化財建造物」というと、お寺や神社などにある、建築から数百年以上を経た建物をイメージされる方が多いのではなからうか。

じつは、文化財建造物の世界においては、近年「近代建築」と呼ばれる建造物群に注目が集まっている。平成27年に「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されたことは記憶に新しいが、明治期以降に建てられた建造物は今まさにその価値が評価されつつある途上なのである。

さて、千葉県が所有している文化財建造物のうち、唯一の近代建築が、平成7年に県指定文化財に指定された「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」である。

千葉県立安房南高校は、明治40年（1907）に開校した安房郡立高等技芸学校をその起源とし、その後県に移管されたことにより千葉県立安房高等女学校と改称、昭和36年には千葉県立安房南高等学校となった。旧第一校舎は昭和5年（1930）、高等女学校時代に建設されたものである。木造2階建・寄棟造瓦葺の校舎の外観は完全なシンメトリーになるようデザインされ、左右の両翼に突出部を持つ。玄関扉上のほか、内装のそこかしこに菱形を基調とする意匠が凝らされており、設計者は不明ながらその技量のほどが窺える造りとなっている。一方、校舎の基礎は強靱な鉄筋コンクリート造である。これは大正12年に発生した関東大震災によって当時の校舎が倒壊したことを受け、校舎の再建にあたって当時の最先端技術を用いたものだった

たようだ。この時期、東葛地域などにおいても鉄筋コンクリート造の校舎を建設した例がみられ、被災の教訓を生かし、子供たちの学び舎を安全なものにしようとする動きが県内各地にあったことが想像される。

千葉県では、文化財としての保存・活用を目的とし、平成24年度に旧第一校舎外壁の補修工事を実施した。そのお披露目の意味も込め、25年度から文化財公開事業として見学会を実施している。卒業生を含む多くの方に足をお運びいただき、我々文化財課職員もこの旧第一校舎が地元で愛される文化財建造物であることを実感する貴重な機会となった。

大変御好評をいただいていた見学会であるが、令和元年度は台風被害、2年度は新型コロナウイルスのため残念ながら中止となった。かわりに文化財課ではYouTube「ちばの文化財紹介チャンネル」において、第一校舎の紹介動画（<https://www.youtube.com/watch?v=xInGmCvKQ2w>）を公開しているので、そこで第一校舎の優美な姿を御覧いただければ幸いである。



千葉教育 菊 (No. 670) 令和3年10月28日発行

編集・発行 千葉県総合教育センター（代表）酒井 昌史
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204
URL <https://www.ice.or.jp/nc/>
印刷所 千葉県療育センター いずみの家
〒261-0003 千葉市美浜区高浜4-8-3 TEL 043-216-2465